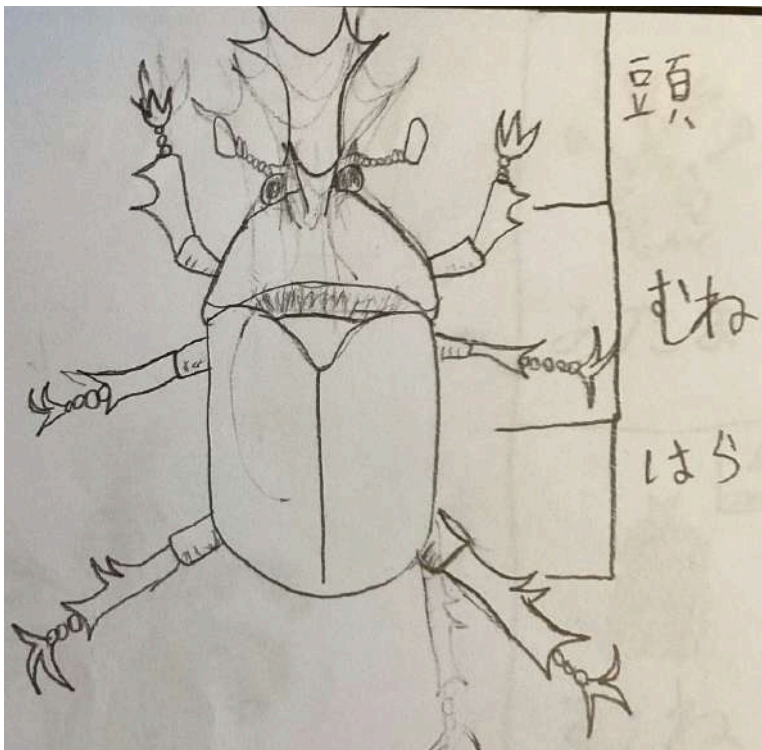




## 理科でスケッチ

3年生から始まる理科ですが、夏が終わるまで植物と昆虫の観察をして、成長や変化の様子を記録していきます。先週は、昆虫の共通点に気付けるように、モンシロチョウ以外の昆虫の観察してスケッチすることになりました。

観察対象はカブトムシです。学校で大量に飼育していたので、ほぼ一人一匹のカブトムシ（♂）を観察しました。上手にスケッチできた子のもので紹介します。



【カブトムシ♂のスケッチ】



【カブトムシ♂の実物】

あしの節やかぎづめまでしっかりとよく見てかけています。特に前あしが出ている位置と手首の部分の様子を正確に捉えていることに感心しました。

理科のスケッチは、図工とは違うので上手に描こうとするのではなく、よく見て描こうとすることがポイントです。その中で、生き物の特徴や不思議さに気付くことができます。

タブレットが学校で導入され、授業の中で児童が気軽に写真をとれるようになりました。植物は、成長や変化を見るのに写真がとても有効なので、便利だなと思っています。一方で、細かな点に注目して観察し、気付きや疑問を得るためには写真ではなく、スケッチの方が有効だと感じています。

この授業の経験からか、探究で生き物チームの子たちがとても詳細な生き物のスケッチをしていました。教科の学びは探究に繋がっていると感じる瞬間でした。